

第 25 年度（2023 年度） 事業報告のまとめ

「新しいつながりをつくりながら、へんかをしてきた 1 年」

事業の再開について

コロナによる制限が緩和されたこともあり、休止していた体験活動であるわんぱくクラブの再開、会員向けの交流企画としてこどもフェスタやひろばクリスマス会の実施、オンラインでの子どもの貧困対策事業の事業報告会を実施することができました。日常的に実施してきた子育て支援事業のげんきスポット 0-3、体験活動の町たんけん、課題を抱えている子どもをたちのための学習サポートのびのびなどの活動と合わせて、これまで出来ていなかった活動を徐々に増やすことができ、本来の多様な活動があふれるこどものひろばの姿に近付いた 1 年となりました。

第 25 年度事業計画の一步目として、久しぶりにこどものひろばの関係者で集まり縁をつなぎなおすことを目的に、通常総会とこどもフェスタを同日同会場で実施しました。以前のような大規模のものではなく、会員、関係者など身近な人向けの小規模での実施を想定して企画しましたが、想定より多くの方が参加してくれました。会場のそこかしこで遊んでいる子どもたちに、多様な世代のボランティアが対応する姿、久しぶりに会った会員さんたちが会話に花を咲かせている姿など、こどものひろばらしい活動の姿というものを再確認できる機会となりました。そのため、次年度以降も交流活動を実施していくことにより、つながりを再度つなぎなおすこと、新しい縁をつないでいくことを計画していければと思います。

一方で、町たんけんはこれまで実施していた形を今年度で終了し、22 年間の活動に区切りをつけました。再開をした活動からも、参加者集め、ボランティアの確保など 1 から進めなくてはいけないこともあり、以前のようなカタチでは実施できないなどの意見もあり、次年度以降各活動をどのように運営をしていくかという課題が残りました。

運営財源の確保について

コロナ禍となってから赤字決算が続いているため、経費の見直しを行い、寄付募集を行なってきましたが、今年度も赤字決算となりました。毎年、収支の差を少なくすることが出来ておりますが、黒字決算とすることは出来ませんでした。前年度と比較して、収入面で大きく変化をしているのは寄付金と講師派遣などの自主事業収入の項目です。講演依頼が増加したことや外部団体で話す機会が増えたことにより、寄付金が大きく増加する結果につながりました。

支出面で大きく変化のあった項目は人件費と修繕費（事業管理費計上）です。人件費は、委託事業の中で、ヤングケアラー支援事業を新規事業として実施するにあたり、非常勤職員を 1 名雇用したことと、最低賃金の増加による時給の変更があったため増加しています。また、修繕費はげんきスポット 0-3 が、今回害獣被害により 7 月下旬から 8 月の初週までの約 2 週間臨時閉館をすることとなりました。その間に施設の消毒、清掃、害獣対策の費用を修繕費として支出しました。今回の対策費用としてプロジェクトページによる寄付募集や会員や施設利用者からの直接寄付をいただき、施設修繕費と合わせて乗り切ることができましたが、予定をしていたものではないため、大きな支出となっています。

また、これまでクレジット決済を行なってきたシステム（CANPAN 決済）のサービス終了にとともに、新規システムの導入（コングラント）を行なったこと、新規の取組として、京都市の実施する「きょうはぐふぁんど」というふるさと納税を活用した仕組みを利用することで、次年度の事業費の一部を確保することを行ないました。

運営体制の変更について

この1年は役員、事務局それぞれの体制変更がありました。

大きな体制変更として、8月に理事長の交代がありました。前年度から少しずつ進めておりましたが、10年間務められた理事長の交代ということで、諸手続きと各所への連絡に時間がかかりました。合わせて長年支えていただいていた理事の任期満了による役員の交代もあり、新規の役員が就任されました。

事務局体制としては、非常勤職員1名が退職されたことから年度が始まりました。また年度の途中で新規事業を受託したため、事業専門の非常勤職員1名を雇用しました。そして、年度末で退職する常勤職員の事業引継ぎのために、新規スタッフの確保を行いました。慌しく、職員体制の変更がありましたが、縁もあり無事に事業実施、事務局運営をすることができました。

しかし、職員数は多くなりましたが、常勤職員が1名減った状態で次年度を迎えることとなり、事業実施、事務局運営に関して、これまでにない運営を行わなければいけないという課題を残すこととなりました。

法人全体 <総会ならびに会議報告>

【第 25 年度通常総会】

日時・場所 2023 年 5 月 21 日（日） 10：00～11：30 みささぎの森

審議事項 第 1 号議案 議事録署名人選出の件

第 2 号議案 第 24 年度事業経過報告承認の件

第 3 号議案 第 24 年度事業活動決算承認の件

第 4 号議案 第 25 年度事業計画承認の件

第 5 号議案 第 25 年度事業活動予算承認の件

第 6 号議案 第 25 年度・第 26 年度の役員選出の件

【理事会】

理事 10 人、監事 2 人で構成。

会 場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」、オンラインにて開催

開催日 2023 年 4 月 23 日(日)、8 月 1 日 (火)、12 月 17 日(日)

2024 年 3 月 17 日(日)

【事務局会議】

法人事務に関して概ね月 1 回程実施し、業務遂行にあたった。

第25年度 各事業報告(1)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	—	—	—	—	—	—	—
子どもが自ら 創る体験 活動事業	<u>こどもフェスタ</u> 小規模で子どももおとなも楽しみ、 交流できる祭典を実施する。	5月21日	みささぎの森	15人	会員、関係者の 子どもと大人 100人	50	12
	<u>わんぱくクラブ</u> 幼児・低学年部の子どもたちを対 象に、野外活動などを実施する。	6月4日・10月22 日・1月28日	みささぎの森	9人(スタッ フ、ボランティ ア)	就園児年少から小 学3年生	80	52
	<u>町たんけん</u> 地域を知り、その中の出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指した。小学生と のたんけん活動の他にも、幅広い 啓蒙活動(小学校や地域との連 携)も予定していたが、実施出来 なかった。 現在2023年度報告書作成中。	通年	地域一円	10人 (メインスタッフ・ ボランティア・講 師)	小学生16名 とその家族 ガイドブック配布 (区内の小学3年 生、他)1200名	111	158
子育てサ ポート事業	<u>げんきスポット0-3(ぜろさん)</u> 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット0-3」にて実施する。屋根 のある公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット0- 3	21人 (スタッフ・ ボランティア・講 師)	地域の 子どもと大人 のべ3363人	7074 (委託金6944)	7204 (委託金7026)
	<u>楽習サポートのびのび</u> 集団活動が苦手なこどもや、学習 機会の少ないこども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな いこどもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	—	—	—	—
	<u>子どもの貧困対策事業</u> 集団活動が苦手な子どもや、学 習機会の少ない子ども、また経済 的等の理由で体験活動の機会が ない子どもへの個別(生活・学習・ 余暇)支援事業。コロナ禍の影響 を受けた家庭に食材・衛生用品の 配布支援も実施。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付	通年	地域一円	29人	子ども13人	2430 (助成金2200)	1474 (助成金1256)
	<u>ひとり親家庭等への生活・学習・ 居場所サポート事業(子どもの貧 困対策事業)</u> 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託金事業	通年	地域一円	29人	子ども: のべ350人	8350 (委託金8350)	9482 (委託金9482)
ボランティ アサポート 事業	<u>ボランティア・研修部</u> ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なった。	通年	当法人事務所	4人	—	—	—
	<u>講師派遣・インターンシップ受入 事業</u> 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4人	—	1,500	888
	<u>のびのび@たいむ</u> のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	2人	6人	—	—
	<u>研修会</u> 実施なし	通年	当法人事務所	2人	—	360	—

第25年度 各事業報告(2)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
広報・出版 事業	<u>コッペパン</u> 広報誌「コッペパン」の発行。	季刊	—	2人	300部を4回	—	—
	<u>ひろばつうしん</u> 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラシ、 外部団体のチラシなども発送。	月刊	—	—	100部を10回	—	—
	<u>ひろばの本</u> 「貧困とひとりぼっちのないまち」 「まちのこどもソーシャルワーク」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	50	0
	<u>サポートBOOK</u> 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—	—
	<u>ホームページ</u> 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—	—
	ネットワーク づくり事業	<u>分野連携ボランティアネットワーク 事業</u> 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワーク づくりを行う。	通年	—	—	—	—
<u>みんなの家</u> フリースペースとして開放。 (主催: 社会福祉協議会)		第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	—	—	—	—
<u>山科子育て応援団</u> 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。		通年	社会福祉協議会 他	—	—	—	—
<u>中学生勉強会(おぐりす・だいで・ 醍醐支所)</u> 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業		通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	29人	5人 6人 10人	2713 (委託金2713)	2713 (委託金2713)
<u>企業との連携</u> 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランティ ア呼びかけなど。		通年	—	2人	—	—	—